

2024年3月期第3四半期 決算説明補助資料

株式会社サクシード

(東証グロース：9256)

売上高 前年同期比10.3%増

セグメント	2023年 3月期第3Q	2024年 3月期第3Q	前期比 (金額)	前期比 (率)
個別指導	839.9	931.8	91.9	+10.9%
家庭教師	433.9	369.8	▲64.1	▲14.8%
教育人材 サービス	645.7	819.6	173.9	+26.9%
福祉人材 サービス	311.3	339.9	28.6	+9.2%
セグメント計	2,230.9	2,461.3	230.3	+10.3%

(単位：百万円)

セグメント利益 前年同期比7.7%減

セグメント	2023年 3月期第3Q	2024年 3月期第3Q	前期比 (金額)	前期比 (率)
個別指導	217.6	202.7	▲14.8	▲6.8%
家庭教師	88.9	33.4	▲55.5	▲62.4%
教育人材 サービス	111.2	139.2	28.0	+25.2%
福祉人材 サービス	79.3	83.6	4.2	+5.4%
セグメント計	497.2	459.1	▲38.1	▲7.7%

(単位：百万円)

各事業セグメントの概要

自社ブランドサービス

個別指導教室部門

- 前期に3校、今期に4校の校舎を新規開校 ※内1校は千葉エリアに初出店
- 新規校舎開校による生徒数の増加により売上増加
- 新規開校の初期費用及び人件費・広告宣伝費が増加

家庭教師紹介部門

- 家庭教師サービス全体、中でも対面型の会員数が減少
- オンライン型家庭教師サービスについては客単価が伸び売上高が増加
- 新規会員獲得のためのプロモーション拡大より広告宣伝費増加

各事業セグメントの概要

外部向け人材サービス

教育人材サービス部門

- 地方自治体向けICT支援員派遣サービス、部活動運営受託サービスの売上が増加
- 日本語教育サービスが伸長
- 新規登録者の獲得のため募集費が増加

福祉人材サービス部門

- 保育施設向け人材サービスにおいて人材紹介・人材派遣とも売上が順調に推移
- 学童施設向け人材サービス、障がい児施設向け人材サービスが伸長
- 介護施設向け人材サービスからの撤退により募集費が減少

ディスクレイマー

この資料は投資家の参考に資するため、株式会社サクシード（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2024年1月31日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

投資をおこなう際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

なお、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。